

京丹後市立図書館

2026年度

おすすめの本

高学年
5・6年生向き

『心をひらいて、音をかんじて 耳のきこえない打楽器奏者 エヴェリン・グレニー』（光村教育図書）

シャノン・ストッカー/文 デヴォン・ホルズワース/絵 中野 怜奈/訳



子どものころ、耳がきこえなくなったエヴェリン。音楽が大好きな彼女は打楽器と出会い…。グラミー賞受賞、ロンドンオリンピックの開会式でも演奏した世界的な打楽器奏者エヴェリン・グレニーの半生を色彩豊かに描く。

『もぐらのほったふかい井戸』（金の星社）

安房 直子/作 いもと ようこ/絵



モグラのモグ吉はわずかな土地を買い、長い長い年月をかけて深い深い井戸を掘った。おいしい水が出ると、1杯を穴あき銀貨1枚で売るようになり…。作家・安房直子の独特の世界をいもとようこが描いた絵本。

『みんなそれぞれ 心の時間』（福音館書店）

一川 誠/文 吉野 晃希男/絵



「楽しい時間は短く、退屈な時間は長く感じる」「年をとると、1年のたつのが早い」…。時間について、こんなふう感じたことはありませんか？時間のなぞを解き明かし、「時計の時間」とは違う「心の時間」の特徴を紹介。

『想像力のスイッチを入れよう』（講談社）

下村 健一/著



3つの想像力を、アクティブ・ラーニングで育てよう！全国3か所の小学校で行われた、下村健一の特別授業を公開。

『ものの見方が変わる！世界のことわざ』（ナツメ社）

時田 昌瑞/監修



思いもよらない発想、だけどどこか似てる!? 世界のことわざから、ユニークで面白く表現されたものを取り上げて解説。同じ意味の日本のことわざや、似た意味の外国語のことわざも紹介する。

『生き抜け! 遭難の五日間』（文研出版）

山口 理/作 十々夜/絵



小学5年生の瞬は、夏休みのトレッキング中、友達の恭介、悠人とともに山で遭難してしまう。山男の岳ちゃんから教わったことを思い出しながら厳しい自然を耐え抜くが、遭難5日目に「生きること」もあきらめそうになり…。

『トクベツキューカ、はじめました!』（岩崎書店）

清水 晴木/作 いつか/絵



1年の中で1日だけ、好きな日に学校を休んでもいいという特別休暇の日、通称「トクベツキューカ」をどうやって使おうか? さまざまな事情を抱えた小学生たちが迷いながら成長していく姿を描く短編連作。

『となりのきみのクライシス』（さ・え・ら書房）

濱野 京子/作 トミイ マサコ/絵



父親の家庭内暴力、学校でのセクハラ、母親からの干渉、女子を見くだす祖父…。子どもの権利って何? 大人は知ってるの? 守られてるの? がまんの限界がおとずれたとき、ついに子どもたちは声をあげる!

『ファミリーマップ』（文研出版）

おおぎやなぎ ちか/作 川野/絵



幼いころ母親を亡くした中学生の陸。父親が再婚することになり動揺する陸は、小さい頃から面倒を見てくれた、父の友達の「よっちゃん」に本心を打ち明けるが…。

『アーマのうそ』（文溪堂）

キャロル・ライリー・ブリンク/作 谷口 由美子/訳 堀川 理万子/絵



友だちに思わず「世界一大きな人形を持ってる」と、うそをついてしまったアーマ。それはどんどんふくらんで、とうとう、学校あげての一大イベントで発表することになってしまい…。アーマは、このピンチを、どう切り抜ける?

無断での複製・転載を禁止します。本の内容紹介はTRC MARCより転載しています。

ほかにもあるよ おすすめの本

『新兵衛じぞう』
安田 正明/原案 安田 千恵子/原案
津田 櫓冬/文・絵
(あまのはしだて出版)

『髪がつなぐ物語』
別司 芳子/著
(文研出版)

『生きもの「なんで?」行動ノート』
きのした ちひろ/絵・文
(SBクリエイティブ)



貸し出し中の本は予約できます。くわしくは職員におたずねください